

毎月23日は、
子どもといっしょに
読書の日

奄美図書館だより

平成25年1月1日発行
第259号(1月号)
鹿児島県立奄美図書館

〒894-0016 奄美市名瀬古田町1-1 TEL0997-52-0244

HP address : <http://www.library.pref.kagoshima.jp/amami/>

E-mail address : ama-lib@pref.kagoshima.lg.jp



2013 謹賀新年

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、県立奄美図書館の業務、事業に
対しまして、格別の御理解と御協力を賜り、心より
お礼申し上げます。

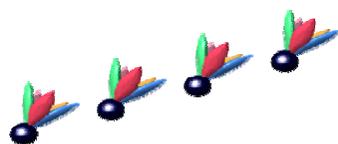
新館オープン以来の利用者が60万人を突破
いたしました。本当にありがとうございます。

さて、昨年末、使いやすい図書館を目指して図
書の配置を大幅に見直しました。インターネットの
利用により、家にいながら図書館を利用できる時
代になりました。しかしながら、実際に図書館におい
ていただきご自身の目で本棚をご覧くださいと、仮
に自分が求めていたタイトルの本はなかったとして
も、同じジャンルの魅力的なたくさん本が眠って
いることを発見できることと確信しております。ぜひ、
図書館に御来館下さい。

本年も、「愛され利用される図書館」の
実現へ向けて、職員一同努めて参る所存で
ございます。

本年も、皆様のたび重なる御利用をよろしくお
願いたします。

館長 北之園 千春



「クリスマスおはなし会」開催

子どもたちが読書の楽しさや感動を味
わい、進んで読書に親しもうとするきつ
かけとなるように、「奄美図書館クリスマス
おはなし会」を、12月16日(日)
に開催しました。

午前と午後の部をあわせて、約300
名の親子が参加してくださいました。読
み聞かせボランティアの方々のご協力を
いただき、大型絵本、大型紙芝居・エ
ブロンシアター等の実演を行いました。お
はなしの世界からのプレゼントは子ども
たちの心に届き、子どもたちの瞳が輝き、
笑顔があふれる時間となりました。



太平洋戦争終戦後の奄美群島の 武装解除、復員業務にあたった陸軍少将

たかだ としきだ

「高田 利貞」

高田利貞は、明治23年に鹿児島市平之町に生まれま
した。大正2年に陸軍士官学校を卒業し、その年に陸軍少尉と
して軍人生活のスタートを切りました。

昭和18年に少将に昇格した高田は、昭和19年に独立混
成旅団長、奄美守備隊司令官として徳之島大和城山に駐屯
し、翌年、同地で終戦を迎えました。

奄美において高田少将の名を今に伝えているのは、戦後処
理での活躍によります。奄美守備隊は、もとは沖縄軍司令部
の指揮下にありましたが、軍司令部玉砕後は九州方面軍最高
司令官の指揮下に入り、独立して奄美群島を守備すること
になっていましたので、終戦後はアメリカ第10軍司令官を相
手に降伏文書にもサインしなければならなくなりました。沖
縄での降伏文書への署名を終え、いよいよ9月にアメリカ第
10軍のカンドン大佐が奄美守備隊の武装解除のために、命
令文書を携え徳之島に来島しました。その文書には、「北部
琉球の兵器を渡せ」と命令してありました。それに対して、
高田少将は、「ここは奄美群島であって、北部琉球ではない」
として、それを了承しません。議論2時間半の末、ついに「北
部琉球」を「奄美群島」と書き換えさせたのです。これと同
じことが復員業務の中でも起こりました。

奄美群島が日本国鹿児島県の大島地区として現在あるの
は、高田少将の言う「猛烈で、しかも合理的な復帰運動」が
あったからですが、終戦直後の高田少将の働きも忘れてはな
りません。

第9回ネリヤカナヤ創作童話コンクール表彰式

第9回ネリヤカナヤ創作童話コンクール(鹿児島県図書館協会奄
美支部主催、鹿児島県立奄美図書館共催)の表彰式が12月9日
(日)に行われました。

まず、最優秀賞・優秀賞・学校賞の受賞者一人一人に賞状が授与
されました。そして、受賞者を代表して、中学生の部で最優秀賞を
受賞した、宇検村立久志中学校の市川藤乃さんがあいさつをしまし
た。その後、第1回からの受賞作品を大型紙芝居として制作し、奄
美図書館に寄贈して下さっている山下洋子さんに、感謝状が贈呈
されました。第9回の作品から、小学5年生の部で最優秀賞を受賞
した諏訪朱音さんの「月に行ったクロウサギ」が大型紙芝居として
制作され、作者の諏訪さんも一緒に作品紹介を行いました。



お知らせ

参加して
みませんか!

あまみならでは学舎 8

○期 日 平成25年1月19日(土) 14:00~15:30

○場 所 鹿児島県立奄美図書館 4階研修室

○内 容 演題「糸から大島紬ができるまで」

講師 夢おりの郷 南 祐和氏

郷土コーナー企画展

○日 時 ~平成25年1月9日(水)

○場 所 鹿児島県立奄美図書館
2階郷土コーナー

○内 容 奄美群島の日本復帰運動を
支え、奄美の芸能研究に貢
献した「文 英吉」の島唄
関係資料の展示



※ お問い合わせは、鹿児島県立奄美図書館まで。

〒894-0016 鹿児島県奄美市名瀬古田町1-1

TEL 0997-52-0244 FAX 0997-52-9634

1月の行事カレンダー



月	日	曜	行事・催し
1	1	火	年末年始休館
	2	水	年末年始休館
	3	木	臨時開館（17時までの開館）
	4	金	17時までの開館
	5	土	むかしばなしの会
	7	月	休館
	9	水	おはなしの森 15:30～
	10	木	青嶺短歌会 13:00～17:00
	11	金	育児サークル「こっちむいて」10:00～
	15	火	休館
	16	水	おはなしの森 15:30～
	19	土	あまみ子どもライブラリー 10:00～ 読書会「島にて」 10:00～12:00 あまみならでは学舎⑧ 14:00～15:30
	20	日	奄美郷土研究会 14:00～16:30
	21	月	休館
	23	水	おはなしの森 15:30～
	25	金	休館（整理研修）
28	月	休館	
30	水	おはなしの森 15:30～	

2月の休館日予告

4日(月)・12日(火)・

18日(月)・25日(月)



児童

ふうとはなときじ
いわむら かずお 童心社

王さまめいたんてい
寺村 輝夫 理論社

あるいてます
みやにし たつや 鈴木出版

ぼくは、いつでもぼくだった。
いっこく堂 くもん出版

なでしこの誓い
上野 直彦 学研教育出版

だれかさんのかぼん
森山 京 ポプラ社

その他72冊

郷土関係

鹿児島ふるさとの昔話 2
下野 敏見 南方新社

沖縄側から見た奄美の文化変容
津波 高志 第一書房

その他18冊

おすすめの本

運をつかむ技術

澤田 秀雄 小学館

著者は、18年もの間、赤字が続いていた長崎県のハウステンボスを、たった一年で黒字に転換したという経営手腕の持ち主です。本物のビジネスリーダーがいらないと言われる今日、澤田さんは、数少ない「真のリーダー」の一人として活躍中です。

「運をつかむ技術」は、「ダメだと思った瞬間からダメになる」、「事業も人生をかけた冒険。チャレンジしなければ意味がない」など、豊かな経験をもとに、これからの日本を担うすべての人々に贈るメッセージの数々です。

一般

地図で読む昭和の日本
今尾 恵介 白水社

経営の真髓 上・下
P. F. ドラッカー ダイヤモンド社

チャレンジが道をひらく
王 貞治 PHP研究所

その他133冊

小説・随筆

白ゆき姫殺人事件
湊 かなえ 集英社

無花果とムーン
桜庭 一樹 角川書店

明日のことは知らず
宇江佐 真理 文藝春秋

見知らぬ国へ
北 杜夫 新潮社

その他47冊

進学・ビジネス支援

知らないと危ない輸入とビジネスの知的財産力
藤田 和子 中央経済社

その他1冊

空よりも高く

重松 清 中央公論新社

廃校が決まった東玉川高校の最後の生徒として入学したネタロー君。ごく普通の高校生として、それなりに楽しく過ごしていました。そんなネタロー君は、3年生の夏休みになっても、まだ志望大学も決められないでいました。ところが、2学期に赴任してきた熱血中年非常勤講師のジン先生の影響で、ネタロー君の心の中で何か動き始めます。作中で、ジン先生が繰り返す「レッツ、ビギン」は、読者の心にも響いてきます。チャレンジするすばらしさを教えてくれる小説です。